

地域支援だより「こやまが丘通信」は、本校の就学エリア（福山市、尾道市、府中市、三原市、竹原市、神石高原町、世羅町、大崎上島町の保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の先生方に配付しています。

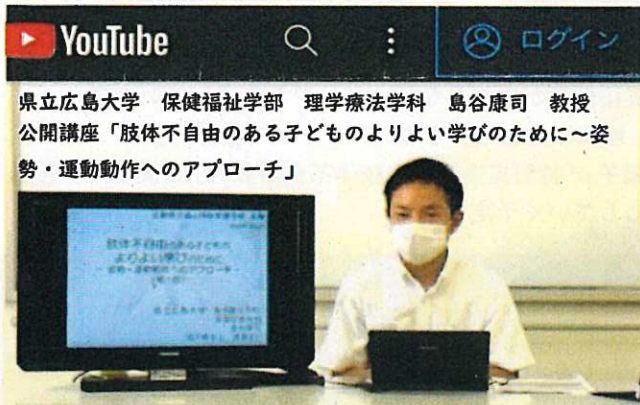
広島県立福山特別支援学校 地域支援だより

こやまが丘通信

令和3年10月発行
第3号

肢体不自由教育に関する情報発信として、夏季セミナー（公開講座、特別支援教育「個別の教育相談会」）を実施しました。公開講座では、県立広島大学島谷康司教授をお招きし、地域の先生方へ限定公開しました。「個別の教育相談会」は、電話やオンライン（ZOOM）で実施しました。参加して下さいました先生方、ありがとうございました。今号は、公開講座の一部を紹介します。

【夏季セミナーの感想】
初めての肢体不自由学級の担任で知らないことも多かったですが、しっかり学ぶことができました。（小学校の先生）



県立広島大学 保健福祉学部 理学療法学科 島谷康司 教授
公開講座「肢体不自由のある子どものよりよい学びのために～姿勢・運動動作へのアプローチ」

最近接領域を意識しやすい遊び方 3つポイント

- ・発達段階に沿って（一緒にできそうな）
- ・5感を使った活動を（視・聴・触・嗅・味・動）
- ・何種類かを選ぶ（教材や場面設定）

- ① 感覚・運動経験（楽しい・面白い）
- ② 探索行動（内部・外部環境）
- ③ 随伴性・模倣（予測させる）



公開講座のご講演は、肢体不自由児への姿勢・運動動作に限らず、不器用さや運動発達が気になる子供たちの理解にも応用できる内容でした。

発達支援の考え方として、「最近接領域」（ヴィゴツキー）の考え方を踏まえて、もう少しできそうなこと、明日にでもできそうな内容を、活動の中で仕組んでいくことが大切であること、具体的な遊び方のポイントについても教えて頂きました。

不器用な子供たちへの支援や「発達性協調運動障害（DCD）」の関心が高まっていることもあり、その内容についても、ご教示頂きました。協調運動の困難さの背景として、運動（目の動き等も含む）だけでなく、感覚の統合に関すること、ワーキングメモリやデュアルタスク（2つの課題を同時に処理する能力）などの実行機能との関連について、専門的な内容を教えて頂きました。

【夏季セミナーの感想】

遊びの中で五感をしっかり使うことで、子供の運動発達の土台を築き、生活動作の機能を上げられるようになることが分かりました。（保育所の先生）

～コラム～ 発達性協調運動障害（DCD）って何？

「発達性協調運動障害（DCD）」の特徴は、発達初期から、動きや手先のなどの運動技能の欠如（不器用さ、運動技能の遅れや不正確さなど）によって、日常生活に支障をきたす状態を指します。

アメリカ精神医学会DSM-5によると、DCDの診断基準として、4つ挙げられています。

- ☑ 暦年齢や経験などよりも、協調運動技能の獲得や遂行が、明らかに劣っていること
- ☑ 運動技能の欠如が、日常生活に支障をきたすこと
- ☑ 症状の始まりが、発達段階早期であること
- ☑ 知的障害や視覚障害、運動に影響を与える神経疾患（脳性まひなど）によるものではないこと

※DSM-5の分類では、DCDは、神経発達障害群の中の「運動障害」に位置付けられています。神経障害群には、注意欠陥多動性障害（ADHD）、自閉症スペクトラム障害（ASD）などが含まれ、それらの障害との併存性が高いことが知られています。



運動面の困難さがあることによって、自己肯定感や意欲の低下を招いたり、チームプレイを必要とするスポーツの参加の難しさや運動不足による健康への心配があったりするなど、学校生活だけでなく、今後の生活にも大きく影響を及ぼす場合があります。運動面の心理的な課題は気付かれにくく、対人関係の面でストレスを感じることも少なくありません。

運動障害の有無に限らず、肢体不自由教育及び特別支援教育の視点から、幼児児童生徒一人一人に応じた学習支援や効果的な関わり方を地域の先生方と一緒に考えていきたいと思えます。お気軽にお問い合わせください。

（参考資料：DSM-5『精神疾患の診断・統計マニュアル』アメリカ精神医学会（2016）

「発達性協調運動障害 不器用さのある子どもの理解と支援」金子書房監修：辻井正次、宮原資瑛 編集：澤江、増田、七木田 2019）


本校Facebookのご紹介





地域支援部員が中心となり、ページを作成しています。
 今後、地域の先生方からのアンケートで要望が多かった、「指導支援の様子」「特別支援教育や肢体不自由教育」に関する情報提供の投稿もしていく予定です。

今年度、福山市内の小学校から、中学部に入学したBさんの今！！
 Bさんの担任（中学部／地域支援部 安田教諭）より

「小学校で頑張ってきた歩行練習を継続しています。5月からPCウォーカー（写真①）で練習を始めました。今では1日 1.5kmを歩くこともあります。夏休み明けから、新しく作ったヘッドギアと足の装具を装着し、日々大好きな歌を聴きながら練習をしています。本校の外部非常勤講師である理学療法士と連携し、手すりを利用した歩行の練習のやり方を聞き、安定して歩くことができるように取り組んでいます。歩行の他、椅子座り（写真②）や作品作り（写真③）など、たくさんできる事が増え、毎日笑顔で過ごしています！

写真① 

写真② 

写真③ 

Bさんが使用しているPCウォーカー等の姿勢支援具や支援機器等は、地域の先生方へ、貸し出しが可能です。
 お気軽にお問合せ下さい。

◇お知らせ◇
 ○緊急事態宣言明けから、対面での教育相談、巡回相談、研修協力を再開します。
 ○令和4年度高等部入学者選抜実施要項については、12月にHPに掲載します。
 ○令和4年度入学・転学希望の方は、12月までに教育相談をお受けください。



お問い合わせ TEL 084-951-1513 FAX 084-951-3864 (受付：平日 9:00～17:00)
 Email fukuyama-sh@hiroshima-c.ed.jp <http://www.fukuyama-sh.hiroshima-c.ed.jp/>
 〒720-0841 広島県福山市津之郷町津之郷 280-3

担当 教育相談主任(特別支援教育コーディネーター)：西谷 愛子 地域支援部長：森 智明

